

【総領事館からのお知らせ：安全対策情報：12月】

平成27年12月11日（総15第25号）

在デンパサール日本国総領事館

1 治安情勢

去る11月にフランスのパリで発生した連続テロ事件以降、欧米諸国だけでなく、各国でテロへの警戒が高まっています。インドネシアにおいても、空港等における警戒のアラートが引き上げられ、治安当局によるテロリストやISIL支持者への監視や取締りが強化されています。

テロはどこでも発生し得る可能性があり、大勢の人が集まる場所等はテロの標的となり得るものという認識が必要と思われます。また、バリ島においては、過去2回（2002年、2005年）大規模な爆弾テロ事件が発生していることも踏まえ、引き続き、テロ関連情報にはご注意くださいとともに、誘拐、テロ等の不測の事態に巻き込まれることがないように、日頃から危機管理意識を持ち、特に外出時には周囲の状況に注意を払うなど状況に応じた適切な安全対策を講じるよう努めてください。

なお、例年、クリスマス及び年末年始はテロの脅威が高まる時期として、インドネシアの治安当局は警戒を強めていることもあり、この時期は特に注意が必要です。

2 一般情勢

(1) 狂犬病

バリ州内の狂犬病による死亡者数は、11月末までで15人に上っており、狂犬病に感染している犬に咬まれる事案は、バリ島内で引き続き発生しています。野犬には決して近づかないようにするとともに、飼い犬であっても咬まれないような注意が必要です。また、屋外を徒歩で移動する際は、周囲に警戒する、安易に動物に手を出さないなど、十分な警戒を行ってください。

(2) 麻薬・薬物への注意

インドネシア当局は、引き続き薬物犯罪の取締りを強化しています。11月、インドネシアの有名バンドメンバーがデンパサール市内のホテルで、マリファナを所持していた容疑で逮捕される等、バリ州各地において、インドネシア人、外国人を問わずに多数の逮捕事案が続いています。インドネシア当局は外国人に対しても死刑を含む重い判決を下しており、薬物犯罪に対し厳しい姿勢で臨んでおります。麻薬・薬物には絶対に関与しないようにしてください。また、薬物が蔓延しているような危険な場所には近寄らないことをお奨めします。

(3) 外国人の不法滞在、不法就労取締り強化

バリ州各地では、外国人による犯罪や不法滞在の事例が増加傾向にあるため、外国人の滞在及び就労に対する取締りが強化されているようです。当地入管、警察、労働省等の関係当局合同チームが、外国人が就労する関係施設を訪問し、不法滞在や就労許可を持たない外国人の摘発が行われ、その一部に日本人も含まれている模様です。当地に滞在するに際しては、適切な滞在許可、また、就労する場合には就労許可が得られていることを確認してください。

3 邦人事件・事故関係

(1) スリ、ひったくり被害

夜間のクタ・レギャン等の繁華街において、邦人旅行者が単独または複数で歩行中、近付いてきた犯人集団に話しかけられたり、体を触られたりしながら、所持品（旅券、財布、携帯電話等）を盗まれる被害が複数発生しています。

また、同地域では、邦人旅行者がオートバイに2人乗りで走行中、後方から接近してきたオートバイに乗った犯人に、追い抜きざま所持していたバッグをひったかれるという被害も報告されています。

貴重品は出来る限り持ち歩かない、不自然に話しかけられたら携帯品を盗まれないよう注意する等、被害防止に御留意ください。

(2) オートバイで走行中の傷害事件

12月7日午前6時前、デンパサール市南部のバイパス（海上高速入口交差点付近）をオートバイで走行中の邦人女性が、別のオートバイが追い越し際に、鋭利な刃物で切りつけられ、ももに十数針を縫うけがを負う被害に遭いました。また、同日、同地域では、同じようにオートバイで走行中の地元女性がももを切りつけられる被害が複数報告されております。今後の追加情報を注視いただくとともに、オートバイの走行時には周囲の状況にも注意してください。

(3) 交通（オートバイ）事故

邦人のオートバイ乗車中の交通事故が数件報告されています。当地の交通環境は決して良いとは言えず、特にオートバイの場合には、事故の状況によっては、重篤な身体的被害を被る可能性があります。ヘルメットを確実に装着する等の基本的事項を厳守するのはもちろん、夜間の運転は控えるなど十分な安全運転を心がけてください。また、万一に備えて必要な保険等への加入をおすすめします。

(4) 飲酒運転

年末年始は何かと飲酒の機会が増えますが、飲酒運転は当国でも違法です。飲酒運転で事故を起こした場合には、重い刑罰が課せられることとなりますので厳にご注意ください。

4 その他

(1) デンパサール空港の警戒強化

インドネシア国内各地の空港で警戒アラートが引き上げられたことに伴い、当地空港でも警戒が強化され、国際線チェック・イン・カウンターエリア内への入口においてX線による荷物検査が行われています。それにより、同入口では利用者による長い列ができており、現状、国際線では入場までに数十分の時間がかかることがあります。空港をご利用の際は、時間に余裕をもった空港到着をお勧めします。

(2) 年末年始における当館の休館日

12月24日（木）、25日（金）は当地の祝日により休館日となります。また、12月29日（火）から来年1月3日（日）までは年末年始の休館日となります。

休館日及び開館時間外の夜間において、緊急の場合には、当館代表（0361-227628）に電話いただければ、連絡が可能となっています。

12月24日（木）～12月27日（日） 休館

12月28日（月） 開館

12月29日(火)～1月3日(日) 休館

以上